

公益財団法人ノバルティス科学振興財団
2013年度（第27期）事業報告及び決算等
(2013年4月1日～2014年3月31日)

財団は1987年9月4日文科大臣の認可の下に設立され、2012年4月1日内閣府の認定の下に公益財団へ移行した。設立以来公益事業を行っており、2013年度（第27期）の事業状況、庶務概要及び決算等は下記の通りである。

I. 事業状況

1. 第27回ノバルティス研究奨励金

生物・生命科学及び関連する化学の領域において、我が国で行われる創造的な研究の助成が目的。国公立大学、研究所、附属病院の関係長及び財団理事、評議員計666名に候補者推薦を依頼し、301件の推薦を得た。選考委員会で候補先42件が選定され理事会で決定した。贈呈先には1件100万円が贈られた。総額4,200万円、採択倍率7.2倍。贈呈先は添付の通り。

2. 研究集会助成

生物・生命科学及び関連する化学の領域において、我が国で開催される国際色豊かな研究集会の助成が目的。24件の公募案件から、選考委員会で候補先5件が選定され理事会で決定した。贈呈先には1件40万円が贈られた。総額200万円、採択倍率4.8倍。贈呈先は添付の通り。

3. バイオキャンプ国内大会の共催

バイオテクノロジー分野のグローバル人材の育成が目的。2013年7月25日～27日ノバルティス ファーマ株式会社と共催。参加者34名がバイオテクノロジーとそのビジネスを学習し、独自の起業プランを英語で発表した。財団は審査、会議進行の業務を行った。

4. 財団年報の発行

財団活動への理解と支援を広げるため、年報を電子媒体(CD)で130部作成し、助成者及び関係者に配付した。年報には、2011年度助成者の成果報告及び財団の活動状況等を収録し、ホームページにも掲載して一般の閲覧に供した。

II. 庶務概要

1. 理事、監事、評議員、選考委員に関する事項

2014年5月1日現在の理事、監事、評議員、選考委員は添付の通りである。

2. 理事会、評議員会及び選考委員会に関する事項

1) 第3回理事会（2013年5月24日東京）

出席者（定足数3）：理事3名、監事2名

第1号議案 2012年度事業報告及び決算（原案承認）

第2号議案 評議員の退任及び選任（1名の交代を承認）

第3号議案 選考委員の退任及び選任（退任7名、後任7名、再任7名を決議・承認）

第4号議案 第2回評議員会の開催（原案承認）

報告事項 職務執行の状況報告（代表理事報告）

2) 第2回評議員会（2013年7月4日決議の省略によるみなし決議）

評議員数12（定足数12）：議決評議員12名

第1号議案 2012年度事業報告及び決算（原案承認）

第2号議案 2013年度事業計画及び予算（原案追認）

第3号議案 評議員の退任及び選任（1名の交代を承認）

第4号議案 議事録署名人の選任（2名選任）

3) 第2回選考委員会（2013年12月13日東京）

出席者（定足数11）：選考委員13名

第1号議案 2013年度ノバルティス研究奨励金の選考（応募301件から42件選出）

第2号議案 2014年度研究集会助成の選考（応募29件から6件選出）

第3号議案 次期選考委員長、委員長代行の選任（原案承認）

第4号議案 議事録署名人の選任（2名選任）

4) 第4回理事会（2014年2月18日東京）

出席者（定足数3）：理事4名、監事2名

第1号議案 2013年度研究奨励金、集会助成の贈呈先（原案承認）

第2号議案 2014年度事業計画及び予算（原案承認）

報告事項 職務執行の状況報告（代表理事報告）

3. 寄付金に関する事項

ノバルティス ファーマ株式会社から4,000万円、個人3名から計5万円の寄付があり、総額4,005万円であった。

Ⅲ. 決算報告

経常収益は、基本財産、その他財産の運用益がそれぞれ2,221万円、39万円であり、寄付金4,005万円を加えた経常収益計は6,265万円であった。

経常費用は、事業費が5,420万円、管理費が363万円であり、合わせた経常費用計は5,783万円であった。事業費は経常費用の94%、支払助成金4,400万円は事業費の81%を占めた。

当期正味財産合計額は11億7,370万円であり、前期より482万円増加した。

Ⅳ. 添付書類

- ・ 2013年度ノバルティス研究奨励金・集会助成金贈呈先
- ・ 役員、評議員、選考委員名簿
- ・ 貸借対照表
- ・ 貸借対照表内訳表
- ・ 正味財産増減計算書
- ・ 正味財産増減計算書内訳表
- ・ 財務諸表に対する注記
- ・ 附属明細書
- ・ 財産目録
- ・ 監査報告書